



## CES 2026 : ボッシュ、日常生活におけるモビリティ、 製造、テクノロジーの未来を形成

ソフトウェアとハードウェアの共存が進歩を推進

2026 年 1 月 5 日  
PI 12021 RB ak/af

- ▶ タニア・リュッカート：「ボッシュの専門知識で、現実世界とデジタル世界のギャップを埋めることができます」
- ▶ ポール・トーマス：「ボッシュはソフトウェアとハードウェアの両方に精通しています。それこそが私たちの成功の基盤です」
- ▶ 売上予測：ボッシュのソフトウェアおよびサービス領域の売上高は 60 億ユーロ超、うち約 3 分の 2 はモビリティ事業セクターとなる見込み
- ▶ インテリジェントなパーソナライズ化されたモビリティ：ボッシュのソフトウェアで、一定の車両では購入後も新機能の後付けが可能
- ▶ コラボレーション：Microsoft 社と協力し、エージェント型 AI で未来の工場を実現
- ▶ 戦略的に重要な米国市場：ドライバーレスのトラック向け冗長プラットフォームの共同開発で、Kodiak AI 社との広範囲にわたる提携を発表
- ▶ 世界的な AI 楽観論：Bosch Tech Compass 調査では、AI は将来的に非常に重要であると 70% の回答者が回答し、圧倒的な支持を示す

ネバダ州ラスベガス（米国）－ デジタル化がますます進む現代において、ソフトウェアは進歩を支える見えない原動力となっており、私たちのコミュニケーション、働き方、日常生活におけるデバイスの使い方、さらにはモノの作り方までも形作っています。しかしソフトウェアは、ハードウェアがもたらす現実世界とシームレスに融合することで、初めてその潜在能力が最大限に発揮されます。ボッシュは CES®2026 において、ソフトウェアとハードウェアを連携することで、よりスマートな未来への道を切り開く方法を紹介します。「ボッシュが長年培ってきたハードウェアとソフトウェアの専門知識で、現実世界とデジタル世界のギャップを埋めることができます」と、ボッシュ取締役会メンバーであるタニア・リュッカートはラスベガスで開催中の CES 2026 で述べています。「ハードウェアとソフトウェアを統合することで、人間を中心に据えた、『Invented for life』を体現するインテリジェントな製品やソリューション

を実現できます」と、リュッカートは続けます。さらにボッシュ北米法人社長のポール・トーマスは、「ボッシュはその両方に精通し、必要な専門知識を培ってきました。それこそが私たちの成功の基盤です」と付け加えました。

ボッシュのソフトウェアおよびサービス領域の売上は、2030年代の初めまでに60億ユーロを超える見込みで、その大半は人工知能（AI）関連となる予測です。また売上高の約3分の2は、モビリティ事業セクター関連が占める見込みです。さらにソフトウェア、センサー技術、高性能コンピューター、ネットワークコンポーネントの売上高が倍増し、2030年代半ばまでに100億ユーロをはるかに超えると予測しています。ボッシュは、引き続きAIのアプリケーションや開発をさらに推進し、2027年末までに、同分野に25億ユーロ以上を投資する予定です。

### コックピットのためのAI革新技術

未来の自動車では、AIが重要な役割を果たします。ボッシュはすでに運転時の安全性と利便性向上にAIを活用しており、CES®2026では新しいAIベースのコックピットを発表します。これは、車両環境を高度にパーソナライズ化できるオールインワンシステムで、人間と同じようなコミュニケーションが可能な大規模言語モデルを実装したコックピットです。車両の内外で何が起こっているかを解釈できる視覚言語モデルも実装されています。これを利用すれば、目的地に到着したら自動で駐車スペースを探す、オンライン会議の議事録を作成する、といったことができます。

ボッシュは同時に、自動運転およびソフトウェアによって機能が制御されるドライビングを実現するうえで、もう一つの重要なテクノロジーであるバイワイヤシステムのリーディングプレイヤーとしての地位も確立しつつあります。これらのシステムは、ブレーキとステアリングの機械的な接続を電気信号線に置き換える、設計、安全性、ソフトウェア制御にこれまでにない自由度をもたらします。ボッシュでは、ブレーキバイワイヤとステアバイワイヤによる累計売上高は、2032年までに70億ユーロを超えると予測しています。この重要なテクノロジーの市場は、2030年代も引き続き加速的に成長し続ける見込みです。

### 乗り物酔いを軽減するボッシュのスマートソフトウェア

ボッシュのソフトウェアソリューションであるビークルモーションマネジメントは、ブレーキ、ステアリング、パワートレイン、シャシーを集中制御することで、6自由度のすべてにおいて車両を制御します。これにより、各アクチュエータをより最適化し、より効率的に使用できます。将来的には、ドライバー好みに合わせてアクチュエータが調整される予定です。ビークルモーションマネジメントは、カーブでの車両の横揺れや、渋滞時の前後の揺れを大幅に軽減し、乗り物酔いを防ぐことを目的としています。これは、自動運転への重要なステップです。

ボッシュでは、センサー技術と AI、新しい第 7 世代レーダーPremium を組み合わせた画期的なテクノロジーを、CES®2026 で世界初公開します。レーダー センサーがハイウェイパイロットなどのアシスタンス機能の性能をさらに向上させ、特殊なアンテナ構成で最大の角度精度と長航続距離を実現します。このセンサーは、たとえば 200 メートル以上離れた場所にあるパレットや車両のタイヤといった非常に小さな物体も検出可能です。これにより、複雑な交通状況でも紛失した荷物や他の道路利用者を正確に検出し、適切な運転操作を開始できます。

また、ボッシュのハードウェアとソフトウェアに関する専門知識により、eBike もこれまで以上に安全になります。ユーザが所有する eBike またはバッテリーが盗難された際、eBike Flow アプリに自身の製品を盗難品として設定できる新機能が追加されました。これにより、中古車購入者、専門ディーラー、または当局が eBike Flow アプリを通じてその eBike に接続しようとすると、瞬時に警告が表示されるため、窃盗犯による eBike やバッテリーの転売がさらに困難になります。

### **MEMS センサー：デジタル化を支える縁の下の力持ち**

自動車用、業務用、あるいは家庭用でも、ハイテク機器の技術革新では小型センサーが大きな役割を果たします。ボッシュは CES で、最新の BMI5 AI MEMS センサー プラットフォームを発表します。これをベースに開発されたセンサーは、いずれも高精度、堅牢性、優れたエネルギー効率が特長で、動き、位置、さらに状況まで認識できる AI 機能も統合されています。これらの新しいモーションセンサーの応用分野の一つが、仮想現実および拡張現実アプリケーションです。頭部の動きをほぼ遅延なく正確にトラッキングすることで、3D 環境で自然な動作を再現することができます。また、ロボットが周囲の状況や動きを正確に認識できるようサポートします。たとえば、カメラのレンズを遮る物体があっても、ヒューマノイドロボットが正しい経路を見つける方法を示します。

### **Microsoft 社と「Manufacturing Co-Intelligence®」で協力**

ボッシュは CES ®2026 で、Microsoft 社との協力継続を発表しました。ボッシュは Microsoft 社と共に「Manufacturing Co-Intelligence®」の提供を拡大し、エージェント型 AI を活用して、製造革命を起こす可能性をもたらす進化を模索します。両社はラスベガスでこれに関する覚書にサインする予定です。

エージェント型 AI は、膨大なデータを解釈してほぼ自動で意思決定を行い、タスクを実行して、製造、保守、サプライチェーンを最適化します。タニア・リュックкартは「工場のプロセスがよりインテリジェントになります」と、語ります。この協力は、製造および産業用ソフトウェアの分野におけるボッシュの深い知識と、IT インフラおよびソフトウェアに関する Microsoft 社の高度な専門知識を組み合わせることをめざしています。両社が目的とするのは、AI を

活用したソリューションを通じて既存の生産プロセスの拡張性を高めることによる、工場の効率化と従業員の負担軽減です。たとえば、生産プロセスの逸脱を早期に検出することでダウンタイムを最小限に抑え、生産コストを削減できます。「Manufacturing Co-Intelligence®」の最初の顧客の1社は、産業用センサーおよびセンサーソリューションの大手グローバルメーカー、Sick AG です。

### 革新的な小型の偽造防止ツール

CES のもう一つのハイライトは、偽造品との戦いにおけるボッシュの革新的なアプローチです。ボッシュは、製品にデジタル DNA を組み込むスマートソリューションである Origify を提供します。これは、物理的な製品の真正性を検証するための、表面パターン認識をコア技術とするソフトウェアエコシステムです。追加のラベルやチップ、コードに頼るのではなく、製品表面が持つ複製不可能な固有の物理的特性を分析し、改ざん不可能なデジタル ID を割り当てます。これをシステムに登録すると、関連する Detector アプリで高速かつ信頼性の高い検証が可能になります。製品のライブ動画を利用することで、数秒以内に模造品かどうかを見極めることができます。

### 米国におけるボッシュ：成長、投資、そして強力なパートナーシップ

ボッシュにとって米国は、依然として重要な戦略的成長市場です。「Microsoft 社との協力は、米国で成長、投資、協力関係をいかに推進していくかを示す格好の例ですが、数ある取り組みのひとつにすぎません」と、トーマスは述べています。ボッシュは Microsoft 社のほかに、米国市場でも数多くの取り組みを進めており、自動運転トラック分野におけるパイオニアである Kodiak AI との取り決めも含まれます。ボッシュと Kodiak AI は、車両に依存しないドライバーレストラック向けの冗長プラットフォームで協力しています。このプラットフォームは、専用のハードウェアとソフトウェアからなる包括的なシステムで、標準的なトラックに組み込まれることで、自動運転機能を可能にします。ボッシュはこのプラットフォーム向けに、センサーやステアリング技術などのアクチュエータを含む、さまざまなハードウェアコンポーネントを供給しています。また現在、e モビリティに不可欠な SiC ウエハの生産強化を目的とし、カリフォルニア州ローズビルにある製造工場の近代化も進めています。

### Bosch Tech Compass : AI は未来の原動力となる

世界 7 か国、1 万 1,000 人以上を対象にした調査「Bosch Tech Compass」において、大多数の人々が AI を、今後数年で最も影響力があり、最もポジティブなテクノロジーと見ていることが示されました。主な調査結果として、AI に対する関心は世界中で高まっており、回答者の 70% が AI は将来的に非常に重要なと考えていることが分かりました。しかし、このように前向きな姿勢が広がる一方で、進歩に対する疲労感も拡大しています。全体の 57% がこのテクノロジーの発展による影響をより深く理解するための「一時停止ボタン」を望んでいます。ボッシュの調査では、AI には大きな期待が寄せられている一方

で、社会にもたらす悪影響に対する懸念もあり、これほど社会への潜在的な脅威と見なされているテクノロジーは他にはないことが分かりました。

**報道用画像およびインフォチャートは、ボッシュ・メディア・サービス（[www.bosch-press.co](http://www.bosch-press.co)）でご覧いただけます。**

**報道関係対応窓口：**

Athanassios Kaliudis

電話: +49 711 811 7497

E-mail: [athanassios.kaliudis@de.bosch.com](mailto:athanassios.kaliudis@de.bosch.com)

**CES 2026 : ボッシュの出展概要**

**CES 2026 プレスカンファレンスについて**

**【日時】** 2026 年 1 月 5 日 (月) 9:00～9:45 a.m. (太平洋標準時)

**【登壇者】** タニア・リュックкарт

(ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー)

ポール・トーマス (ボッシュ北米法人社長)

**【場所】** Ballroom Banyan ABCD、Mandalay Bay Hotel,

Las Vegas South Convention Center、Level 3

**【配信】** [ボッシュ・メディア・サービス](#)でライブ配信

**ボッシュブースのご案内**

**【出展期間】** 2026 年 1 月 6 日 (火) ~9 日 (金)

**【出展場所】** Central Hall、ブース#16203

**ボッシュのエキスパートによる講演会：**

**【テーマ】** ソフトウェアと AI によるパーソナライズ：  
車内エクスペリエンスの再構築

**【日時】** 1 月 6 日 (火) 11:20 (太平洋標準時)

**【場所】** West Hall Mobility Stage

**【登壇者】** Christopher Prediger  
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部、  
コンピューティング パフォーマンス担当バイスプレジデント)

**【テーマ】** ネットワーク化されたコミュニティにおける  
人間の安全保障およびスマートモビリティの推進

**【日時】** 1 月 6 日 (火) 16:00 (太平洋標準時)

**【場所】** Las Vegas Convention Center North / N261

**【登壇者】** Oliver Steinbis (Bosch Secure Authentication GmbH 社長)

- 【テーマ】** パーソナライズされたパフォーマンス：  
ソフトウェア ディファインド パワー、ステアリング、ブレーキ
- 【日時】** 1月7日（水）9:40（太平洋標準時）
- 【場所】** West Hall Mobility Stage
- 【登壇者】** Philipp Ibele  
(エレクトリファイド モーション事業部  
エンジニアリング担当エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)  
Rich Nesbitt  
(ビーグルモーション事業部 製品管理担当バイスプレジデント)
- 【テーマ】** スマートデバイスとスマートホーム統合の最新情報
- 【日時】** 1月7日（水）11:00（太平洋標準時）
- 【場所】** Las Vegas Convention Center West / N218
- 【登壇者】** Darcy Clarkson (北米 BSH の CEO)
- 【テーマ】** データからエクスペリエンスへ：  
次世代モビリティの中核を担う AI
- 【日時】** 1月7日（水）16:30（太平洋標準時）
- 【場所】** Fontainebleau Las Vegas の AI Foundry Stage
- 【登壇者】** Mariela Minutolo  
(ETAS GmbH セールス & マーケティング担当  
エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)  
Christian Koepp  
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部  
コンピューティングパフォーマンス担当シニアバイスプレジデント)
- 【テーマ】** 手を離すから目を離すへ：自動運転レベル 4 への競争
- 【日時】** 1月8日（水）9:00（太平洋標準時）
- 【場所】** Las Vegas Convention Center West / W219
- 【登壇者】** Fedra Ribeiro  
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部  
セールス担当エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)
- 【テーマ】** ソフトウェア ドリブン モビリティにむけた協働
- 【日時】** 1月8日（水）9:40（太平洋標準時）
- 【場所】** West Hall Mobility Stage
- 【登壇者】** Eric Cesa (ETAS Americas バイスプレジデント)

**報道関係対応窓口：**

**CES におけるボッシュ：**Irina Ananyeva, +49 152 597-53284, Megan Bonelli, +1 947 281-7062, Tim Wieland, +1 248 410-0288

**モビリティ、ソフトウェア：**Athanassios Kaliudis, +49 152 086-51292

**AI (人工知能)：**Matthias Jekosch, +49 711 811-17645

**コネクテッド・マニュファクチャリング (ネットワーク化された製造) :**

Manuela Kaiser, +49 711 811-44203

## 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024年の従業員数は約41万8,000人（2024年12月31日現在）、売上高は903億ユーロ（約14.8兆円\*）を計上しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、電動化、デジタルライゼーション、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュGmbHとその子会社490社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点で約8万7,000人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ（1861～1942年）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュGmbHの独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュGmbHの株式資本の94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュGmbHおよび創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

\*2024年の為替平均レート、1ユーロ = 163.8354円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

[@BoschPress](#) ボッシュ・メディア 公式X (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

[@BoschJapan](#) ボッシュ・ジャパン 公式X (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube (日本語)

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン 公式LinkedIn (日本語)